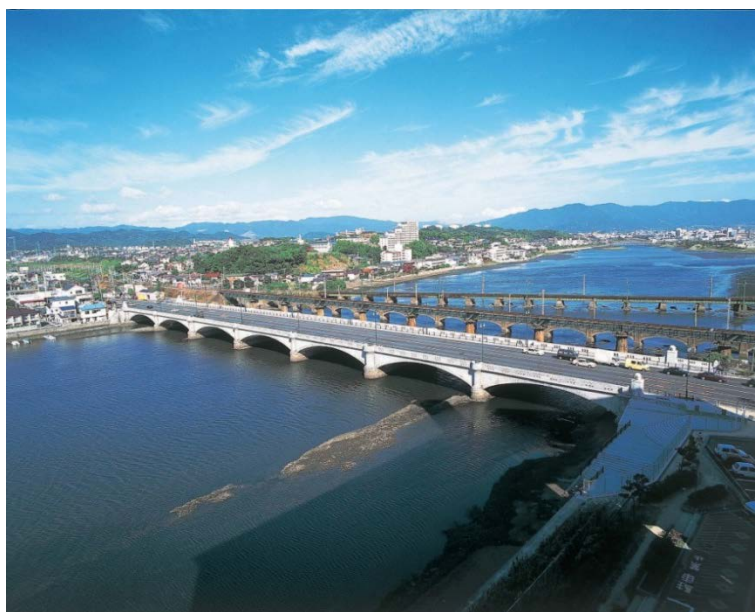


国の文化審議会による文化財登録の答申について

国道の全国的な展開と、近代福岡の発展を象徴する壮大な道路橋である名島橋が「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として、平成30年3月9日に開催される文化審議会（会長 馬淵明子）から、文部科学大臣に国の登録有形文化財（建造物）に登録するよう答申されました。なお、告示は7月を予定しております。

1. 名 称 名島橋 1基
2. 所在の場所 福岡市東区名島二丁目から箱崎七丁目間
3. 構造、大きさ 鉄筋コンクリート造七連アーチ橋、橋長 204.1m、幅員 25.2m
4. 建設年代 昭和8年
5. 所有者の氏名 国（国土交通省）
6. 所有者の住所 東京都千代田区霞が関二丁目1番3号
7. 概 要 7つの扁平アーチが連続する長大な外観に、半円形の付柱とバルコニー、親柱頂部の半球など、古典的な装飾をバランス良く配した長大で、かつ均整のとれた優美なデザインが特徴の道路橋。



【国の登録文化財（建造物）】

地域に親しまれている建物や、時代の特徴をよく表したものの、再び造ることができないものは、貴重な文化財です。この文化財建造物を守り、地域の資産として活かすため、平成8年に国の文化財登録制度が誕生しました。原則として建設後50年を経過した歴史的建造物で、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制という緩やかな規制を通じて保存を図り、活用を促していく制度です。



名島橋位置図



古典的な装飾の半円形の付柱とバルコニー
(名島側上流より)



親柱及び袖柱は花崗岩切石が使われる
(名島側上流より)



7つの扁平アーチが連続する長大な外観に、古典的な装飾をバランス良く配した長大で、かつ均整のとれた優美なデザインが特徴の道路橋

(下流箱崎側より)



上空より

鹿児島本線・西鉄貝塚線・名島橋と福岡市の大動脈を担ってきた橋梁が並ぶ

(上空より)



名島橋親柱

高さ2.5m超の柱に直径1m超の半球を戴く重量感のあるつくり

(名島側より)

【 東京文化財研究所 北河大次郎氏 名島橋所見 】

名島橋は、福岡市北部を流れる多々良川の河口付近に架かる道路橋である。

大正8年の道路法公布以降、自動車交通に対応した幹線道路の整備が全国規模で進む中、名島橋は、東京と鹿児島を結ぶ国道2号の施設として建設された。橋は、福岡県糟屋郡箱崎町・多々良村間（現在はいずれも福岡市）に架かり、昭和5年に開港した国際空港・名島水上飛行場へのアクセスと、市域拡張が進む福岡市の新たな玄関口としての役割も期待されていた。工事は福岡県の直営で、県の出先機関である第二号国道改築事務所および県土木課が担当し、昭和5年に着工、同8年に竣工した。

名島橋は、橋長204.1m、幅員25.2mの規模を有する広幅員、上路式の鉄筋コンクリート造7連アーチ橋である。アーチは扁平な三心円アーチで、充腹式とする。表面は、スパンドレルをモルタル塗り仕上げとする以外は、高欄、親柱及び袖柱を含め花崗岩切石とする。親柱は、高さ2.5m超の柱に直径1m超の半球を戴く重量感のあるつくりで、高欄は規則的に穿たれた半円アーチ形の開口部を特徴とする。橋脚は、両端に半円形の水切りを付け、その水切り形状を橋面まで上に延ばしてバルコニー（国土交通省福岡国道事務所所蔵『名島橋設計図』によると「ベランダ」）をつくり、長大な連続アーチの外観を分節する。なお、第2及び第5橋脚では、他より基礎（井筒基礎）と橋脚を太くつくる。

名島橋は、扁平な充腹アーチの連続に、球形及び円形を基調とする古典的な意匠を要所に配した、長大で、かつ均整のとれた外観を特徴とする。幹線道路ネットワーク建設の全国的な展開と、大都市化が進む近代福岡の発展を象徴する橋梁であり、国土の歴史的景観に寄与している。

北河大次郎氏

- ・ 国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学研究センター 近代文化遺産研究室長
- ・ 今回の所見は登録を行うにあたり、新たに寄せて頂いたものです。

平成30年3月9日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 まぶち あきこ 馬淵 明子）は、平成30年3月9日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに196件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、11,886件となる予定です。

1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	196件 28都府県55市町村(区)	11,886件 47都道府県917市町村(区)

○時 代 別

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	59	44	27	66	196
累 計	2,124	3,789	2,445	3,528	11,886

○種 別

	産 業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	15	16	6	4	12	1	8	69	65	0	0	196
累計	122	1,198	1,509	489	221	372	330	339	5,354	1,675	197	80	11,886

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	153	4	39	196
累 計	9,362	618	1,906	11,886

2. 主な事例

① 伝統校に受け継がれる、モダンなデザインの旧制中学校舎

旧福島県立相馬中学校講堂 福島県相馬市

現在の福島県立相馬高校の講堂。昭和8年完成。正面は大屋根と玄関、大小二つの切妻屋根の妻面をかさね、窓まわりを幾何学的なモチーフで装飾する。また、外壁の腰壁に人造石を横使いにして、水平性を強調している。昭和前期流行のアールデコ風デザインで外観をまとめた、明朗な佇まいの学校建築。



② 和の建築美をモダニズムで表現した、岸田日出刀晩年の力作

旧東照宮宝物館 栃木県日光市

日光山内に建つ鉄筋コンクリート造のものと博物館。設計は東大名誉教授で安田講堂（大正14年）も手掛けた岸田日出刀。昭和42年完成、一階を執務、二階を展示に使用した。周囲に高欄付きのテラスをまわし、板葺き風の屋根や壁から突き出た梁などの伝統表現が特徴的なモダニズム建築。



③ 法華経を広めた日蓮聖人が開いた大寺院

身延山久遠寺祖師堂及び御供所ほか

山梨県南巨摩郡身延町

日蓮宗の総本山。祖師堂及び御供所は本坊域の中心堂宇の一つで、宗祖600年遠忌の一環として明治14年に建立された。入母屋の大屋根をかける豪壮な外観や奥行き深い内部空間が特徴で、内外とも精密な彫刻で華やかに飾る。代々造営に携わった地元の大工の技量が存分に発揮されている。



著作権者：久遠寺

④ トヨタ自動車最初の乗用車が生まれた記念碑的な工場
愛知製鋼刈谷工場旧試作工場東棟，西棟

(旧豊田自動織機製作所自動車部試作工場)

愛知県刈谷市

豊田自動織機製作所が自動車試作のため、昭和9年に建設した。切妻屋根を左右になげた構成で、内部は中央柱筋に独立柱を並べた一つの空間とする。屋根、壁とも鉄板張りとするなど機能本位の考え方でまとめられた昭和前期の工場建築。



⑤ 阪神間に花開いた市民文化を象徴する公共施設
御影公会堂

兵庫県神戸市

御影地区の中心地に建つ。地元老舗の白鶴酒造の寄附を受け、もと神戸市技師の清水栄二の設計、大林組の施工により昭和8年に完成した。モダニズムを基調に多様なデザインを取り入れながら、全体を巧みにまとめている。地域に親しまれる、独創的なデザインの文化施設。



⑥ 国道の全国的な展開と、近代福岡の発展を象徴する壮大な道路橋
名島橋

福岡県福岡市

福岡市街の北を流れる多々良川にかかる、国道3号の鉄筋コンクリート橋。県直営の工事により昭和8年に完成した。7つの扁平アーチが連続する長大な外観に、半円形の付柱とバルコニー、親柱頂部の半球など、古典的な装飾をバランス良く配した優美なデザインが特徴の道路橋。

